

現在の自分は未来のためにある

下會所 響さん



～プロフィール～

- ・ 2020(令和2)年度卒業
- ・ インテリア科 デザインコース
- ・ 野球部マネージャー

長野保健医療大学 看護学部 看護学科

高校時代は . . .

私の高校生活は、部活動と勉強で忙しい日々でした。特に野球部のマネージャーとしての活動は、今の自分を確立することができた良い経験でした。勉強では、自分の空き時間に参考書や単語帳を開いてコツコツ勉強するように心がけていました。それに加えて、デザインコースの課題が多くあったので、その課題に追われていた記憶があります。ですが色々含めてとても充実した高校生活を送ることができました。

進路選択は . . .

○高校↓大学

私が進路について考え始めたのは、高校一年生の三学期でした。この時期から自分が将来進みたい分野を定めて、先生と相談しながら情報収集を始めました。まず取り組んだのは、定期考査での成績を上げること」と、自分のアピールにつながる活動になるべく参加する」ことに重点を置きました。部活動での活動時間が多かったため、勉強と両立することは容易ではありませんでしたが、隙間時間に勉強することを習慣化したりして時間を有効活用することを心掛けていました。また、部活動だけではなくデザインコースの授業の作品制作や生徒会の役員など、可能な限り様々な活動に参加し面接時に活かせるようにしました。どの活動も主体性をもって前向きにトライしていくことが大切だと感じています。

大学では . . .

現在、私は看護の分野について大学で学んでいます。講義や演習、グループディスカッション、臨床実習を通して医療・看護についての専門的な知識や技術のみならず、生命の倫理観や人間の尊厳など患者さんと関わるうえで重要な力を日々養っています。勉強内容は難しく思われがちですが、学びを深めて

行くにつれて自分の身近な出来事と結びつけているので大変楽しく学ぶことができています。

後輩へのメッセージ

今、自分が一生懸命に取り組んでいることを大切にしてください。部活動や勉強など人それぞれ頑張っている分野は違うと思いますが、自分が自信をもって頑張った」と言えるものがあると、自分自身が苦しい場面にしたとしても心の支えになると思えます。実際進路については、悩んだり辛いと思うことが多いです。だからこそ、友達と楽しい時間を過ごすことを大切に、素敵な思い出をたくさん作って欲しいです。陰ながら応援しています。



2023 年度卒業生進路講話 木曾青峰高等学校インテリア科

人と比べず自分と向き合う

牛丸 叶理さん



～プロフィール～

- ・2020(令和2)年度卒業
- ・インテリア科 プロダクトコース
- ・吹奏楽部

長野保健医療大学 保健科学部 リハビリテーション学科

高校時代は・・・

プロダクトコースで二年生の時は階段棚、三年生の卒業制作はドレッサーを作りました。課題研究では、お六櫛を学び伝統文化を途絶えさせないための手立てを考えました。勉強も部活動も友人と毎日を通り過ごすことも本当に楽しく、充実した高校3年間でした。

進路選択は・・・

○高校 ↓ 大学

以前から、福祉や保健医療に興味があり、このようなことを仕事にしたいと考えていました。インテリア科での勉強は楽しかったので続けたいという気持ちもあり迷いましたが、自分のやりたいことに向いていることは何かを考え、作業療法を学ぶことを決めました。進路選択は、時間がかかり、三年生の夏ごろに決定しました。周りの友人たちは進路が明確で準備を始めていたので焦りや不安はたくさんありました。親や先生が相談に乗ってくれて、しっかり考えることができたおかげで後悔しない選択ができたと思います。専門学校ではなく大学を選んだ理由は、自分に不足している知識や技術を補ったり、新しいことを学んだりする中で、ゆとりをもって勉強に取り組むことができると思ったからです。

大学では・・・

一・二年生のときに、基礎知識として体の構造や疾患特性、作業療法とは何かを学びました。二年生途中から三年生では、実際の検査を行ったり、臨床実習に行ったりして、技術力を身に

着けています。四年生では、国家試験に向けた勉強と臨床実習などがあります。グループワークや実技が多く、自分にはない部分や必要な力が身に付きます。

後輩へのメッセージ

進路に悩んだら、先生方は親身になって相談にのってくれるので、話をして自分の考えを深めていったら良いと思います。高校生のうちから専門的なことを学べるのは貴重なので、全力で授業に取り組んでほしいです。高校でできた友達や思い出が、心の支えになる時があるので、友達と一緒に楽しい思い出をたくさんつくってください！



2023 年度卒業生進路講話 木曾青峰高等学校インテリア科

その瞬間を全力で取り組んだ

赤堀 真雪さん



～プロフィール～

- ・2015(平成 27)年度卒業
- ・インテリア科 プロダクトコース
- ・バスケットボール部

成安造形大学 総合領域デザインプロデュースコース
酒井産業株式会社

高校時代は . . .

インテリア科デザインコースに所属し、良くも悪くも全力で学校生活を送っているような生徒だったと思います。軽音楽部部长、美術部兼部、図書委員長をしたり、文化祭では後夜祭副係長をしたりなど、様々な活動に積極的に参加していました。

進路選択は . . .

○高校 ↓ 大学

高校 3 年生になってから進路を本格的に考えはじめたかと思えます。自分の中で関西方面へ行きたいということと、雑貨などの商品の企画から販売まで幅広く学べるところが良いと考えて、成安造形大学総合領域デザインプロデュースコースへ進学しました。大学では、グラフィックデザイン、商品デザインを学びながら、様々なイベントの企画や運営に携わってきました。

○大学 ↓ 就職

就職活動では自分の好きなアニメーションなど、エンタメコンテンツに携わりたいと思いが活しましたが倍率が高く、うまくいきませんでした。新卒では一度飲食業に就きましたが、自分のやりたいことを見つめ直して、複数回転職を経験し、現在の職場でデザインメインとした仕事をする事ができています。

会社では . . .

楽天と Amazon で EC(インターネット)サイトの運営をしています。メインはバナーや商品ページ等の

デザイン全般を担当していますが、出荷手配業務や顧客対応、マーケティングなどの E コerce 運営に関する業務に対応しています。

後輩へのメッセージ

私は世間一般的にみると、就職がうまくいかなかったです。ですが、現在は自分のやりたかったデザインのお仕事ができるようになりました。まわりのことが気になってしまったりあると思いますが自分のペースで時間がかかってもやりたいことをあきらめないことが大事だと思います。自分の楽しめる、好きなことを大切にしてください。

